

## 【米国】 Case Study 4 アメリカでのボランティア活動



### ➔ 高齢者支援の担い手であるボランティアの活動とそれを支える仕組

- アメリカでは、社会的な文化・慣習となっているボランティア活動が、エイジング・イン・プレイスを実現するために必要なケアと援助を提供。
- 政府との協力の下、NPO等がボランティア活動を促進しており、その事例を紹介。

#### ● 青少年のクラブ活動の例

- ・ ボーイスカウト、ガールスカウトは、様々なボランティアの機会を広く提供
- ・ スカウトプログラムは課外授業であり、メリット・バッジ・プログラムを通じて、子どもたちが様々な技能を学ぶ
- ・ ボーイスカウトの最高位はイーグルスカウトであり、達成するには自分のコミュニティの模範市民・アメリカの模範国民になること、緊急時の対応や救急活動など、社会奉仕に関する要素が含まれている

#### ● 教育機関の例

- ・ 多くの小学校では、毎年1回はボランティア活動日を設定
- ・ 多くの高校では社会奉仕活動を卒業条件に定めており、一部の学校では40時間のボランティア活動が課されている
- ・ 大学では、優秀な成績だけでなく、コミュニティにも貢献し、世界を更によくすることができる若者を求めている

#### ● NPOによる活動促進の例【ハンズオン・バイエリア】

- ・ サンフランシスコのバイエリアにおいて、ボランティアを必要とする団体と、ボランティア活動の機会を求めている人を結ぶ仲介役のNPO
- ・ 2017年には25,000人以上のボランティアを募り、280箇所以上の学校、公園、NPOで76,000時間以上のサービスを提供

#### ● 政府の支援

- ・ 1993年に、ナショナル・アンド・コミュニティサービス公社(CNCS)という連邦政府機関を設立
- ・ ボランティア活動支援金の提供(2019年度予算:10.8億ドル)や、55歳以上を対象に、最適なボランティア団体を紹介する「シニアコー・プログラム」等を提供

#### 政府助成金の活用例【ミールズ・オン・ウィールズ・アメリカ】

- ・ ボランティアと有給従業員の両者により、食事を準備・配達するサービスを全国規模で提供
- ・ 2018年には、数百万人のボランティアが240万人の高齢者に2.25億食を配達
- ・ ボランティアなしには、ミールズ・オン・ウィールズは存続できない